

同時資料配布先:

学研都市記者クラブ

経済産業記者会

2026 年 1 月 16 日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

2025 年度 ALPS 国際シンポジウム

—多様化する国際情勢下の地球温暖化対策と世界各国の政策動向と展望— 開催のご案内

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization)を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するか、について検討を行っています。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギー、原子力、CO₂ 回収貯留(CCS)、水素系エネルギー、そして大気中 CO₂ 回収技術(DAC)なども含め、様々な対策が必要です。また、様々な省エネは引き続き、重要な対策と考えられ、更にデジタルトランスフォーメーション(DX)によって誘発されるサーキュラー・シェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会変化の可能性を有しています。グリーントランスフォーメーション(GX)実現に向けて、このような様々な対策の貢献がどのように期待できるのかについて、定量的かつ包括的なシナリオ分析等を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所(RFF: Resources for the Future)、国際エネルギー機関(IEA)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進め、我が国の気候変動政策の立案、IPCC や COP での国際的な議論に貢献することを目的としています。

世界は、気候変動危機に対応すべく、1.5℃目標、2050 年のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組みを強化しています。しかしながら、世界の CO₂ 排出量は引き続き増大基調にあり、2024 年の世界平均気温は 1.5℃上昇を超えました。さらに、終結の見通しが立たないロシアとウクライナの戦争や中南米情勢の深刻化、さらには米国トランプ関税導入による世界経済への影響をはじめ、世界の政治情勢も不安定化するなど、国際情勢は不確実性が高まっています。このような中、日本は、2050 年カーボンニュートラルに向けた排出削減と経済成長・産業競争力強化を共に実現していくため、GX 政策を進めており、GX2040 ビジョンもとまりまとめられたところです。また、製造業の拠点はアジアにあり、GX2040 ビジョンでもアジアでの脱炭素化の協力強化の方針も打ち出されているところです。排出量取引制度 GX-ETS の制度設計も進められ、2026 年度からの制度導入において、その影響も注視する必要があります。複雑化する情勢の中、経済と環境の好循環実現への道筋と課題について焦点を当てつつ、本研究事業の成果報告会を兼ねて 2025 年度 ALPS 国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、欧米、アジアの著名な専門家による、国際動向や今後の展望を様々な視点から紹介いただきます。最新の研究成果を皆様の取り組みへの参考にさせていただけるよう多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

共 催： 経済産業省(予定)

日 時： 2026 年 3 月 4 日 (水) 10:00-17:30

会 場： ベルサール虎ノ門 (〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー2F)

および WEB 配信

プログラム：

10:00	開会挨拶	山地憲治 RITE 理事長
10:05	来賓挨拶	経済産業省 大臣官房審議官(GX 担当)(予定)
10:15	趣旨説明	秋元圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
10:30	基調講演	「世界のエネルギー・気候変動対策の動向と今後の展望(仮)」 Dr. Nebojsa Nakicenovic, Distinguished Emeritus Scholar, IIASA(国際 応用システム分析研究所)
11:10	講演	「米国の展望と政策動向(仮)」 Dr. William A. Pizer, President and CEO, Resources for the Future(米 国 未来資源研究所)
12:00	休憩	(60分)
13:00	講演	「中東の展望と政策動向(仮)」 Dr. Malak Al-Nory(予定), Provost of Effat University, Senior Advisor of Ministry of Energy, Saudi Arabia
13:40	講演	「東南アジアの展望と政策動向(仮)」 Dr. Joyashree Roy, Distinguished Professor and Center Director, Asian Institute of Technology
14:20	講演	「韓国の展望と政策動向(仮)」 Dr. Tae Yong Jung, Professor, Graduate School of International Studies, Yonsei University(延世大学)
15:00	講演	「日本の展望と政策動向(仮)」 秋元圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
15:40	休憩	(10分)
15:50	パネルディスカッション	「ETS の動向、役割と課題(仮)」 モデレーター：調整中 Dr. William A. Pizer(RFF) Dr. Tae Yong Jung(Yonsei Univ.) 手塚 宏之(鉄鋼連盟) 上野 貴弘(電中研)
17:20	閉会挨拶	本庄孝志 RITE 専務理事
17:30		シンポジウム閉会

2. 参加登録(参加費無料)

参加を希望される方は、以下 RITE ウェブサイトよりお申込みください。

<https://www.rite.or.jp/system/events/2026/01/alpsfy2025.html>

3. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参ください。

本件に関するお問合せ先

・シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ 藤崎、斎藤

E-mail: alpssympo@rite.or.jp

TEL:0774-75-2304 FAX:0774-75-2317

・広報に関するお問合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム

TEL:0774-75-2301 FAX:0774-75-2314 E-mail: pub_rite@rite.or.jp